



2021年11月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月14日

上場会社名 北興化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4992 URL <https://www.hokkochem.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐野 健一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 綿井 聡 TEL 03-3279-5152
 定時株主総会開催予定日 2022年2月25日 配当支払開始予定日 2022年2月28日
 有価証券報告書提出予定日 2022年2月25日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年11月期の連結業績（2020年12月1日～2021年11月30日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期	40,287	1.6	2,865	25.3	3,843	18.0	2,927	22.0
2020年11月期	39,641	△5.6	2,287	△21.2	3,258	△13.1	2,400	△14.9

(注) 包括利益 2021年11月期 4,345百万円 (△3.6%) 2020年11月期 4,508百万円 (71.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年11月期	108.06	—	9.1	7.7	7.1
2020年11月期	88.61	—	8.5	7.1	5.8

(参考) 持分法投資損益 2021年11月期 ー百万円 2020年11月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年11月期	51,987	34,220	65.8	1,263.58
2020年11月期	48,201	30,363	63.0	1,121.13

(参考) 自己資本 2021年11月期 34,220百万円 2020年11月期 30,363百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年11月期	2,940	△1,689	△965	4,321
2020年11月期	4,590	△1,885	361	3,956

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年11月期	—	9.00	—	9.00	18.00	487	20.3	1.7
2021年11月期	—	9.00	—	10.00	19.00	515	17.6	1.6
2022年11月期(予想)	—	10.00	—	11.00	21.00		21.5	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年11月期の連結業績予想（2021年12月1日～2022年11月30日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	1.8	2,900	1.2	3,600	△6.3	2,650	△9.5	97.85

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2021年11月期	29,985,531株	2020年11月期	29,985,531株
2021年11月期	2,903,861株	2020年11月期	2,903,353株
2021年11月期	27,081,974株	2020年11月期	27,082,243株

(参考) 個別業績の概要

2021年11月期の個別業績（2020年12月1日～2021年11月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期	36,893	0.0	2,237	17.9	3,206	10.4	2,452	19.9
2020年11月期	36,890	△6.5	1,897	△27.5	2,903	△18.1	2,044	△22.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期	90.54	—
2020年11月期	75.49	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭		
2021年11月期	50,210	64.0	32,138	64.0	1,186.70	1,186.70		
2020年11月期	47,211	61.3	28,940	61.3	1,068.60	1,068.60		

(参考) 自己資本 2021年11月期 32,138百万円 2020年11月期 28,940百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想に関しましては現時点で得られた情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	5
(5) 利益配分に関する基本方針および当期・次期の配当	5
2. 企業集団の状況	6
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	7
4. 連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 連結貸借対照表	8
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	10
連結損益計算書	10
連結包括利益計算書	11
(3) 連結株主資本等変動計算書	12
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	14
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(追加情報)	15
(セグメント情報等)	16
(1株当たり情報)	20
(重要な後発事象)	20
5. 個別財務諸表	21
(1) 貸借対照表	21
(2) 損益計算書	23
(3) 株主資本等変動計算書	24
6. その他	26
(1) 売上高明細表(個別)	26
(2) 役員の異動	27

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつありますが、持ち直しの動きに弱さが見られます。

景気の先行きについては、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直していくことが期待されますが、供給面での制約や原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要があるほか、新型コロナウイルス感染症の変異株による内外経済への影響を注視する必要があるなど、不透明な状況が続いております。

国内農業では、農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作面積の減少や耕作放棄地の増加など依然として厳しい状況の中、政府は、ロボット技術やICT等の先端技術を活用した「スマート農業」の取り組みを進めるなど、農業の成長産業化に向けた検討を進めております。また、合わせて食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現させるため、中長期的な観点から戦略的に取り組む政策方針として「みどりの食料システム戦略」を策定しております。一方、海外では、世界的な人口の増加や新興国経済の成長による農作物需要の拡大基調が今後も続くと思われられます。

ファインケミカル業界は、コロナ禍により低迷した自動車業界の急速な回復やテレワークや巣ごもり需要の拡大、次世代高速通信(5G)の本格始動等に伴う半導体の需要の急拡大により、フォトレジスト分野等を中心に、国内外において堅調な動きを見せております。一方、中国における政策的な電力の供給制限による工場の減産や、原材料価格の高騰などの下振れリスクに注意する必要があります。

繊維業界では、リサイクル繊維や植物由来繊維など環境負荷低減に資する素材へのニーズが急速に高まるとともに、グローバルなトレーサビリティの確立が強く求められるようになりました。さらにサプライチェーンの混乱に起因して、生産拠点や生産体制見直しの検討に加え、業界内の協業・連携の動きが進んでおります。これらは今後さらに大きな流れとなることを見込まれます。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、「収益構造改革」、「造り方改革」、「働き方改革」の三つの改革を柱とした5ヵ年経営計画「HOKKO Value Up Plan 2030 1st Stage for Creation」(2021年11月期～2025年11月期)の経営目標達成に向けて、新製品の普及や新規受託品の受注活動に注力しております。また、企業理念に基づき「SDGsへの取り組み方針」を定め、その達成を目指しております。

当連結会計年度における当社グループの売上高は、農薬事業における販売が減少したものの、ファインケミカル事業における販売が増加したことから40,287百万円となり前連結会計年度比647百万円(1.6%)の増加となりました。

利益面では、売上高の増加に加え、返品調整引当金の繰入額が減少したことや、販売費及び一般管理費の抑制に努めたことにより、営業利益は2,865百万円となり前連結会計年度比578百万円(25.3%)の増加となりました。経常利益は、当社が株式を保有する海外企業からの配当金が減少(前連結会計年度比383百万円の減少)したものの、円安の進展による為替差益の計上等により、3,843百万円となり前連結会計年度比585百万円(18.0%)の増加となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、2,927百万円となり前連結会計年度比527百万円(22.0%)の増加となりました。

事業別の状況は以下のとおりです。

〔農薬事業〕

農薬製品の売上高は、海外販売におけるアジア向けの増加があったものの、国内販売において、本事業年度向け水稲用育苗箱剤の原材料の入荷遅延などにより、前連結会計年度比で減収となりました。この結果、本セグメントの売上高は24,121百万円となり前連結会計年度比800百万円(3.2%)の減少となりました。本事業年度は、返品調整引当金の繰入額が減少し、販売費及び一般管理費の抑制に努めましたが、営業損失は、214百万円となり前連結会計年度比57百万円(21.0%)の減少となりました。

〔ファインケミカル事業〕

ファインケミカル製品の売上高は、主要3分野(医農薬、電子材料および樹脂)の販売が好調に推移したことから、前連結会計年度比で増収となりました。この結果、本セグメントの売上高は14,659百万円となり前連結会計年度比1,445百万円(10.9%)の増加となりました。営業利益は、3,044百万円となり前連結会計年度比499百万円(19.6%)の増加となりました。

〔繊維資材事業〕

繊維資材の売上高は、産業用繊維資材分野では、主に欧米市場の家具向け需要が堅調に推移したものの、衣料品分野では、新たな需要の取り込みに注力する中で、消費回復の遅れ等の影響もあり、ほぼ前連結会計年度並みとなりました。この結果、本セグメントの売上高は、1,489百万円となり前連結会計年度比3百万円(0.2%)の増加となりました。営業利益は、販売費及び一般管理費の抑制に努めたことにより、38百万円となり、前連結会計年度比21百万円(120.3%)の増加となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債および純資産の状況

当連結会計年度末における資産の残高は51,987百万円となり、前連結会計年度比3,786百万円の増加となりました。内訳として、商品及び製品、建設仮勘定、投資有価証券が増加しております。

負債の残高は17,767百万円となり、前連結会計年度比71百万円の減少となりました。内訳として、支払手形及び買掛金、未払法人税等、繰延税金負債が増加した一方、短期借入金、未払金、未払消費税等、退職給付に係る負債が減少しております。

純資産の残高は34,220百万円となり、前連結会計年度比3,857百万円の増加となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円、単位未満四捨五入)

科 目		前連結会計年度	当連結会計年度
現金及び現金同等物の期首残高		904	3,956
	営業活動によるキャッシュ・フロー	4,590	2,940
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,885	△1,689
	財務活動によるキャッシュ・フロー	361	△965
	現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	78
現金及び現金同等物の増減額		3,052	364
現金及び現金同等物の期末残高		3,956	4,321

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、2,940百万円の収入超過（前連結会計年度は4,590百万円の収入超過）となりました。これは、主に税金等調整前当期純利益によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは、1,689百万円の支出超過（前連結会計年度は1,885百万円の支出超過）となりました。これは、主に有形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の財務活動によるキャッシュ・フローは、965百万円の支出超過（前連結会計年度は361百万円の収入超過）となりました。これは、主に配当金の支払によるものです。

(現金及び現金同等物の期末残高)

当連結会計年度の現金及び現金同等物の期末残高は期首残高より364百万円増加し、4,321百万円となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年11月期	2020年11月期	2021年11月期
自己資本比率 (%)	60.7	63.0	65.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	36.8	63.2	44.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.3	0.5	0.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	81.6	96.6	95.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

当社グループは、2021年度を初年度とする新経営計画「HOKKO Value Up Plan 2030」(2021/11期～2030/11期)を策定しました。最初の5年間で1st Stage for Creation(2021/11期～2025/11期)とし、業務改革の推進により基盤強化を図り、次の5年間の2nd Stage for Advanceで、あるべき姿に到達することを目指してまいります。

〔農薬事業〕

国内販売におきましては、国内農薬市場の縮小傾向が続くため販売競争の激化がさらに進んでいくものと予想され、依然として厳しい状況が続くものと考えられます。海外販売におきましては、中長期的には拡大傾向で推移することが予想される農薬市場でのシェア拡大を目指してまいります。

〔ファインケミカル事業〕

品質と価格の両面において顧客の要望が高度化する医薬・農薬分野や、本格的に始動した次世代高速通信(5G)や電気自動車向けの電子材料分野においては、生き残りをかけた開発競争や価格競争が激しさを増しています。また化学品に対する世界的な規制の強化が進められるなどファインケミカル事業を取り巻く環境は、大きな変化が予想されます。

〔繊維資材事業〕

新規顧客、新商品開発による販路拡大を目指すとともに、当社グループ企業との営業面および内部体制面でのシナジー効果発揮にも注力してまいります。

以上のとおり、各報告セグメントの事業環境は今後も厳しい状況が見込まれますが、次期の業績見通しについては、売上高は41,000百万円、営業利益は2,900百万円、経常利益は3,600百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は2,650百万円としています。

(5) 利益分配に関する基本方針および当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への安定的な利益配分の継続を基本方針とし、内部留保の蓄積や成長投資とのバランスを図りつつ、利益の動向に応じた株主還元の実施を目指してまいります。

上記の方針ならびに当期の業績を踏まえ、期末配当金は1株につき10円を予定しています。なお、年間配当金につきましては、中間期1株につき9円を配当させていただきましたので、合わせて年間19円となる予定です。

また、次期の配当金につきましては、中間配当金を1株につき10円、期末配当金を1株につき11円、合わせて年間21円を予定しています。

2. 企業集団の状況

当社グループは、当社、連結子会社5社（北興産業(株)、美瑛白土工業(株)、ホクコーパックス(株)、村田長(株)、張家港北興化工有限公司）および非連結子会社1社（HOKKO CHEMICAL AMERICA CORPORATION）により構成されており、農薬ならびにファインケミカル製品の製造・販売を主たる事業として行っています。

当社グループの事業における位置付けおよびセグメントとの関連は、次のとおりです。

(1) 農薬事業

農薬につきましては、当社が製造していますが、当社で使用する農薬原料の一部は、連結子会社美瑛白土工業(株)が製造しています。

製品の販売につきましては、当社が主として行っていますが、一部の農薬は、連結子会社北興産業(株)が販売しており、連結子会社美瑛白土工業(株)は、バルーン、銅基剤、および白土等を販売しています。

非連結子会社 HOKKO CHEMICAL AMERICA CORPORATION（米国ノースカロライナ州）は、北中南米における農薬市場の調査および当社が販売する農薬製品の普及活動を行っています。

(2) ファインケミカル事業

電子材料原料等のファインケミカル製品につきましては、当社が主として製造していますが、製造の一部は、連結子会社張家港北興化工有限公司（中国江蘇省）が行っています。

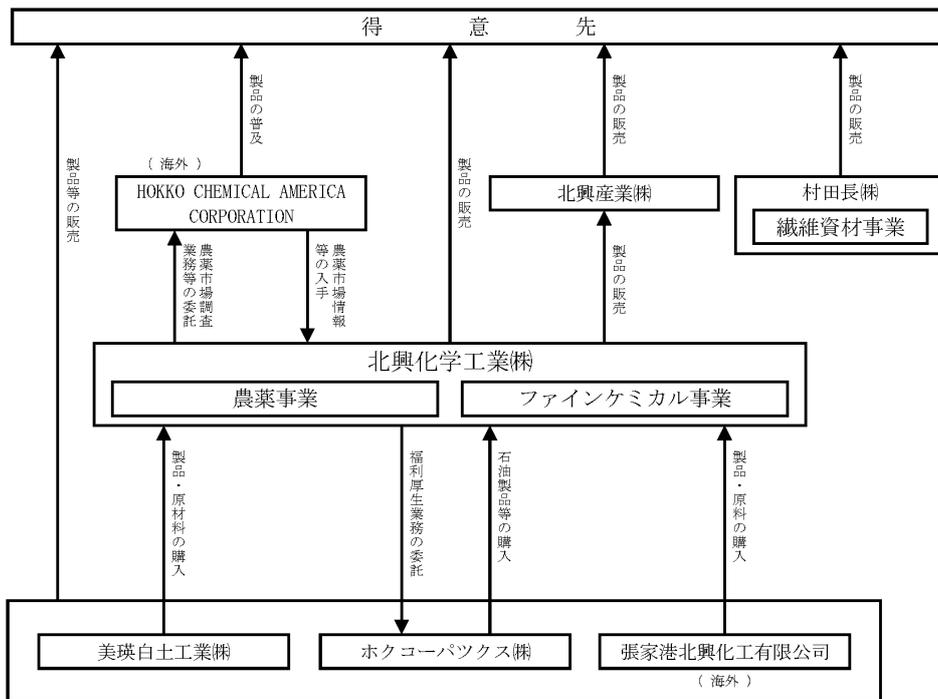
製品の販売につきましては、当社が主として行っていますが、連結子会社北興産業(株)が一部を国内で販売しており、また、連結子会社張家港北興化工有限公司が一部を中国国内等に販売しています。

(3) 繊維資材事業

繊維資材の販売につきましては、村田長(株)が行っています。

(事業系統図)

以上に述べた事項を系統図によって示すと次のとおりです。



※1. 北興産業(株)、美瑛白土工業(株)、ホクコーパックス(株)、村田長(株)、張家港北興化工有限公司は連結子会社です。
 ※2. HOKKO CHEMICAL AMERICA CORPORATION は非連結子会社です。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R S の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当連結会計年度 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,956	4,321
受取手形及び売掛金	11,272	11,321
商品及び製品	9,981	10,830
仕掛品	498	544
原材料及び貯蔵品	4,755	4,997
その他	687	516
流動資産合計	31,149	32,529
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	4,500	4,299
機械装置及び運搬具 (純額)	2,696	2,417
土地	966	966
建設仮勘定	198	1,179
その他 (純額)	354	295
有形固定資産合計	8,714	9,155
無形固定資産	510	705
投資その他の資産		
投資有価証券	7,582	9,378
長期貸付金	13	11
繰延税金資産	42	20
その他	214	211
貸倒引当金	△22	△20
投資その他の資産合計	7,828	9,598
固定資産合計	17,052	19,458
資産合計	48,201	51,987

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当連結会計年度 (2021年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,656	6,376
短期借入金	436	225
1年内返済予定の長期借入金	150	—
未払金	1,784	1,399
未払法人税等	339	607
未払消費税等	530	22
未払費用	3,412	3,244
返品調整引当金	135	158
その他	56	57
流動負債合計	12,498	12,088
固定負債		
長期借入金	1,500	1,400
退職給付に係る負債	2,625	2,314
繰延税金負債	795	1,380
返品調整引当金(長期)	358	501
その他	62	84
固定負債合計	5,341	5,679
負債合計	17,838	17,767
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,214	3,214
資本剰余金	2,608	2,608
利益剰余金	20,869	23,308
自己株式	△1,310	△1,311
株主資本合計	25,381	27,819
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,415	5,671
為替換算調整勘定	101	267
退職給付に係る調整累計額	466	462
その他の包括利益累計額合計	4,982	6,400
純資産合計	30,363	34,220
負債純資産合計	48,201	51,987

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)	当連結会計年度 (自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)
売上高	39,641	40,287
売上原価	29,774	29,950
売上総利益	9,866	10,338
販売費及び一般管理費	7,580	7,473
営業利益	2,287	2,865
営業外収益		
受取利息及び配当金	518	191
その他	602	850
営業外収益合計	1,120	1,041
営業外費用		
支払利息	45	31
その他	104	32
営業外費用合計	149	63
経常利益	3,258	3,843
特別利益		
受取補償金	—	171
固定資産売却益	219	1
投資有価証券売却益	8	—
特別利益合計	227	172
特別損失		
固定資産除却損	51	65
損害賠償金	250	—
投資有価証券評価損	36	—
災害による損失	13	—
その他	35	12
特別損失合計	384	77
税金等調整前当期純利益	3,101	3,939
法人税、住民税及び事業税	812	954
法人税等調整額	△111	58
法人税等合計	701	1,012
当期純利益	2,400	2,927
親会社株主に帰属する当期純利益	2,400	2,927

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)	当連結会計年度 (自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)
当期純利益	2,400	2,927
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,172	1,256
為替換算調整勘定	22	166
退職給付に係る調整額	△85	△4
その他の包括利益合計	2,108	1,419
包括利益	4,508	4,345
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,508	4,345

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,214	2,608	18,970	△1,310	23,482
当期変動額					
剰余金の配当			△501		△501
親会社株主に帰属する当期純利益			2,400		2,400
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		0		0	0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	0	1,899	△0	1,899
当期末残高	3,214	2,608	20,869	△1,310	25,381

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	2,243	79	551	2,873	26,356
当期変動額					
剰余金の配当				—	△501
親会社株主に帰属する当期純利益				—	2,400
自己株式の取得				—	△0
自己株式の処分				—	0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,172	22	△85	2,108	2,108
当期変動額合計	2,172	22	△85	2,108	4,007
当期末残高	4,415	101	466	4,982	30,363

当連結会計年度 (自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,214	2,608	20,869	△1,310	25,381
当期変動額					
剰余金の配当			△487		△487
親会社株主に帰属する当期純利益			2,927		2,927
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	2,439	△1	2,439
当期末残高	3,214	2,608	23,308	△1,311	27,819

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	4,415	101	466	4,982	30,363
当期変動額					
剰余金の配当				—	△487
親会社株主に帰属する当期純利益				—	2,927
自己株式の取得				—	△1
自己株式の処分				—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,256	166	△4	1,419	1,419
当期変動額合計	1,256	166	△4	1,419	3,857
当期末残高	5,671	267	462	6,400	34,220

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)	当連結会計年度 (自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,101	3,939
減価償却費	1,496	1,351
のれん償却額	39	39
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△225	△317
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	386	165
受取利息及び受取配当金	△518	△191
支払利息	45	31
固定資産処分損益 (△は益)	△167	63
投資有価証券評価損益 (△は益)	36	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△23	8
たな卸資産の増減額 (△は増加)	528	△1,010
仕入債務の増減額 (△は減少)	△363	624
未払消費税等の増減額 (△は減少)	560	△521
その他	163	△700
小計	5,058	3,481
利息及び配当金の受取額	518	191
利息の支払額	△47	△31
法人税等の支払額	△939	△702
法人税等の還付額	1	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,590	2,940
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△69	—
投資有価証券の売却による収入	72	6
有形固定資産の取得による支出	△1,917	△1,689
有形固定資産の売却による収入	46	262
無形固定資産の取得による支出	△0	△254
その他	△18	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,885	△1,689
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	161	△227
長期借入れによる収入	1,200	200
長期借入金の返済による支出	△500	△450
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△500	△487
財務活動によるキャッシュ・フロー	361	△965
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	78
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,052	364
現金及び現金同等物の期首残高	904	3,956
現金及び現金同等物の期末残高	3,956	4,321

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

新型コロナウイルス感染症の影響は、2022年度中には収束に向かい経済状況は改善されると仮定しており、当社グループの経営成績および財政状態に重要な影響はないと考えておりますが、上記仮定に変化が生じた場合には、翌連結会計年度以降の当社グループの経営成績および財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品別に区分した「農薬事業」「ファインケミカル事業」「繊維資材事業」ごとに国内および海外の包括的な戦略を考案し、事業活動を展開しております。

したがって当社グループでは、「農薬事業」「ファインケミカル事業」「繊維資材事業」の3つを報告セグメントとしております。

「農薬事業」は、農薬製品、農薬原体等を製造・販売しております。「ファインケミカル事業」は、樹脂添加剤、医農薬中間体、電子材料原料等を製造・販売しております。「繊維資材事業」は、繊維資材を販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は営業利益（のれん償却前）ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益および振替高は市場実勢価格に基づいています。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年12月1日 至 2020年11月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注3)
	農薬事業	ファイン ケミカル 事業	繊維資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,921	13,214	1,486	39,621	20	39,641	—	39,641
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	10	10	371	380	△380	—
計	24,921	13,214	1,495	39,631	390	40,021	△380	39,641
セグメント利益又は損失 (△)	△271	2,546	17	2,292	13	2,305	△18	2,287
セグメント資産	21,211	13,645	837	35,693	491	36,184	12,017	48,201
その他の項目								
減価償却費	463	1,017	1	1,480	15	1,496	—	1,496
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	189	391	4	585	1	585	8	593

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品の販売等を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失の調整額△18百万円には、セグメント間取引消去21百万円およびのれんの償却額△39百万円が含まれております。

セグメント資産の調整額12,017百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産15,244百万円およびセグメント間の債権債務の相殺消去等△3,227百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注3)
	農薬事業	ファイン ケミカル 事業	繊維資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,121	14,659	1,489	40,268	19	40,287	—	40,287
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	22	22	452	474	△474	—
計	24,121	14,659	1,510	40,290	471	40,761	△474	40,287
セグメント利益又は損失 (△)	△214	3,044	38	2,868	14	2,882	△18	2,865
セグメント資産	22,415	14,125	890	37,430	512	37,942	14,045	51,987
その他の項目								
減価償却費	443	893	1	1,336	15	1,351	—	1,351
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	1,553	388	23	1,964	—	1,964	4	1,968

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△18百万円には、セグメント間取引消去21百万円およびのれんの償却額△39百万円が含まれております。

セグメント資産の調整額14,045百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産17,229百万円およびセグメント間の債権債務の相殺消去等△3,184百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

[関連情報]

前連結会計年度(自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)

1. 製品およびサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	アジア	その他	合計
33,762	3,883	1,995	39,641

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	中国	合計
7,964	750	8,714

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
全国農業協同組合連合会	18,897	農薬事業
信越化学工業株式会社	5,463	ファインケミカル事業

当連結会計年度(自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)

1. 製品およびサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	アジア	その他	合計
33,465	4,638	2,184	40,287

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	中国	合計
8,327	828	9,155

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
全国農業協同組合連合会	17,869	農薬事業
信越化学工業株式会社	5,501	ファインケミカル事業

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

前連結会計年度(自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)
金額的重要性が低いため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)
金額的重要性が低いため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

前連結会計年度(自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)

	農薬事業	ファイン ケミカル 事業	繊維資材 事業	その他	調整額	合計
当期償却額	—	—	39	—	—	39
当期末残高	—	—	324	—	—	324

当連結会計年度(自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)

	農薬事業	ファイン ケミカル 事業	繊維資材 事業	その他	調整額	合計
当期償却額	—	—	39	—	—	39
当期末残高	—	—	285	—	—	285

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)	当連結会計年度 (自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)
1株当たり純資産額	1,121円13銭	1,263円58銭
1株当たり当期純利益金額	88円61銭	108円06銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)	当連結会計年度 (自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	2,400	2,927
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	2,400	2,927
期中平均株式数 (株)	27,082,243	27,081,974

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 個別財務諸表
 (1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年11月30日)	当事業年度 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,291	3,680
受取手形	3,703	—
売掛金	6,848	10,298
商品及び製品	9,595	10,228
仕掛品	482	482
原材料及び貯蔵品	4,602	4,732
前払費用	20	20
未収入金	522	516
その他	31	32
流動資産合計	29,095	29,987
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,209	3,084
構築物（純額）	668	603
機械及び装置（純額）	2,314	1,879
車両運搬具（純額）	16	12
工具、器具及び備品（純額）	235	208
土地	961	961
建設仮勘定	131	1,157
有形固定資産合計	7,533	7,904
無形固定資産		
ソフトウェア	70	49
ソフトウェア仮勘定	—	—
その他	4	229
無形固定資産合計	74	277
投資その他の資産		
投資有価証券	7,411	9,189
関係会社株式	527	527
関係会社出資金	1,230	1,230
長期貸付金	983	907
繰延税金資産	—	—
その他	381	208
貸倒引当金	△22	△20
投資その他の資産合計	10,510	12,042
固定資産合計	18,117	20,222
資産合計	47,211	50,210

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年11月30日)	当事業年度 (2021年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,426	5,979
短期借入金	311	—
1年内返済予定の長期借入金	150	—
未払金	1,648	1,331
未払法人税等	314	542
未払消費税等	492	5
未払費用	3,383	3,217
預り金	758	856
返品調整引当金	135	158
その他	10	13
流動負債合計	12,628	12,101
固定負債		
長期借入金	1,500	1,400
退職給付引当金	3,173	2,873
返品調整引当金(長期)	358	501
繰延税金負債	594	1,178
その他	18	19
固定負債合計	5,644	5,971
負債合計	18,272	18,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,214	3,214
資本剰余金		
資本準備金	2,608	2,608
資本剰余金合計	2,608	2,608
利益剰余金		
利益準備金	803	803
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	119	113
別途積立金	5,680	5,680
繰越利益剰余金	13,397	15,368
利益剰余金合計	20,000	21,964
自己株式	△1,310	△1,311
株主資本合計	24,512	26,476
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,428	5,662
評価・換算差額等合計	4,428	5,662
純資産合計	28,940	32,138
負債純資産合計	47,211	50,210

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)	当事業年度 (自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)
売上高	36,890	36,893
売上原価	27,961	27,715
売上総利益	8,929	9,178
販売費及び一般管理費	7,031	6,941
営業利益	1,897	2,237
営業外収益		
受取利息及び配当金	520	185
その他	627	845
営業外収益合計	1,148	1,030
営業外費用		
支払利息	39	30
その他	103	31
営業外費用合計	142	61
経常利益	2,903	3,206
特別利益		
受取補償金	—	171
固定資産売却益	44	1
特別利益合計	44	172
特別損失		
固定資産除却損	34	59
固定資産売却損	1	—
災害による損失	13	—
損害賠償金	250	—
特別損失合計	298	59
税引前当期純利益	2,650	3,319
法人税、住民税及び事業税	685	827
法人税等調整額	△80	40
法人税等合計	605	867
当期純利益	2,044	2,452

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)

(単位:百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	3,214	2,608	2,608	803	126	5,680	11,847	18,456
当期変動額								
固定資産圧縮積立金の取崩			-		△7		7	-
剰余金の配当			-				△501	△501
当期純利益			-				2,044	2,044
自己株式の取得			-					-
自己株式の処分		0	0					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			-					-
当期変動額合計	-	0	0	-	△7	-	1,550	1,543
当期末残高	3,214	2,608	2,608	803	119	5,680	13,397	20,000

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△1,310	22,969	2,274	2,274	25,243
当期変動額					
固定資産圧縮積立金の取崩		-			-
剰余金の配当		△501			△501
当期純利益		2,044			2,044
自己株式の取得	△0	△0			△0
自己株式の処分	0	0			0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		-	2,154	2,154	2,154
当期変動額合計	△0	1,543	2,154	2,154	3,697
当期末残高	△1,310	24,512	4,428	4,428	28,940

当事業年度 (自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)

(単位: 百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金			
				固定資産圧 縮積立金	別途積立金	繰越利益剰 余金		
当期首残高	3,214	2,608	2,608	803	119	5,680	13,397	20,000
当期変動額								
固定資産圧縮積立金の取崩			-		△7		7	-
剰余金の配当			-				△487	△487
当期純利益			-				2,452	2,452
自己株式の取得			-					-
自己株式の処分			-					-
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)			-					-
当期変動額合計	-	-	-	-	△7	-	1,971	1,965
当期末残高	3,214	2,608	2,608	803	113	5,680	15,368	21,964

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価 証券評価差 額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△1,310	24,512	4,428	4,428	28,940
当期変動額					
固定資産圧縮積立金の取崩		-			-
剰余金の配当		△487			△487
当期純利益		2,452			2,452
自己株式の取得	△1	△1			△1
自己株式の処分		-			-
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)		-	1,234	1,234	1,234
当期変動額合計	△1	1,964	1,234	1,234	3,198
当期末残高	△1,311	26,476	5,662	5,662	32,138

6. その他

(1) 売上高明細表 (個別)

(単位：百万円未満四捨五入)

期 別 事 業 別		前 期 自 2019年12月 1日 至 2020年11月30日		当 期 自 2020年12月 1日 至 2021年11月30日		増 減 (△は減)	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	増 減 率
			%		%		%
農 薬 事 業	殺 虫 剤	5,581	15.1	5,494	14.9	△87	△1.6
	殺 菌 剤	6,675	18.1	7,158	19.4	483	7.2
	殺虫殺菌剤	5,309	14.4	4,955	13.4	△354	△6.7
	除 草 剤	6,802	18.4	6,024	16.3	△778	△11.4
	そ の 他	477	1.3	401	1.1	△76	△15.9
	計	24,843	67.3	24,032	65.1	△812	△3.3
	ファインケミカル事業	12,047	32.7	12,861	34.9	815	6.8
	合 計	36,890	100.0	36,893	100.0	3	0.0
うち輸出							
	農 薬 事 業	2,363	6.4	2,711	7.3	348	14.7
	ファインケミカル事業	2,600	7.0	2,649	7.2	49	1.9
	計	4,963	13.5	5,359	14.5	396	8.0

(2) 役員の変動について

(2022年2月25日付予定)

取締役および監査役

- | | |
|-------------|----------------|
| (1) 新任取締役候補 | はまだ なおゆき |
| 取締役執行役員 | 濱田 尚之 (現 執行役員) |
| (2) 新任監査役候補 | よねだ ひろと |
| 監査役 | 米田 浩人 (現 総務部長) |
| (3) 退任予定取締役 | はしもと てつよし |
| 現 取締役専務執行役員 | 橋本 哲芳 |
| (4) 退任予定監査役 | くらしよ ひろたか |
| 現 監査役 | 蔵所 広隆 |

以 上